

### 3. 平成26年度活動実績

#### (1) リクルート等の実績

平成23年1月31日から、福島市と南相馬市、双葉郡を併せた10市町村を対象地区として、産科医療機関を受診した妊婦とその配偶者を対象にリクルート(参加登録)を開始した。

東日本大震災及び東京電力第一原子力発電所の事故により、双葉郡は中断となり、その後、県北地域の4市町が加わり、さらに平成24年10月からは県内59全市町村を対象地域とし参加者募集を行った。

平成26年3月31日をもってリクルートは終了した。父親のリクルートと児の登録は、母親が出産し1カ月健診が終了した12月まで実施した。

この結果、母親の最終参加者数は13,134人、同意率は78.6%であった(目標数15,900人の82.6%の達成率)。また、父親の参加者数は8,695人、子どもの登録数は出生後12,835人であった。

表1 対象地域の変化とリクルート(参加登録)目標数追加の経緯

項目	開始時	平成24年10月以降
調査対象地域	10市町村(福島市、南相馬市、双葉郡)	福島県59全市町村
協力医療機関(産科)	19医療機関	52医療機関(うち茨城県1機関)
リクルート予定人数	6,900人	15,900人(拡大9,000人追加)
リクルート期間	平成23年1月～26年3月(3年2カ月)	平成24年10月～26年3月(1年半)

#### (2) フォローアップ状況

##### 1) 質問票の回収状況

児を出産し1カ月健診までの調査票回収の管理は、産科医療機関において積極的に対応していただいた。

産後6カ月ごとの調査は半年ごとに、コアセンターから質問票が郵送され、記入後ユニットセンターへ返送される。

平成27年3月31日現在での質問票の回収状況(表2)は、6か月質問票は97.0%であるが、年齢経過と共に回収率が低下している。全国15ユニットの平均に比較するとやや高い状況であるが、回収率をいかに維持していくかが今後の課題である。

表2 質問票の回収状況(平成27年3月31日現在)

調査時期	発送数(人)	回収数(人)	回収率(%)	
			福島	15ユニット
6か月質問票	9,674	9,387	97.0	91.9
1.0歳児質問票	6,462	6,100	94.4	87.8
1.5歳児質問票	3,221	2,965	92.1	83.7
2.0歳児質問票	1,779	1,601	90.0	81.1
2.5歳児質問票	910	910	89.1	77.4
3.0歳児質問票	327	288	88.1	71.4

(発送後6か月以上)

## 2) 打ち切り・取り止め数について

流産、中絶、子宮内死亡、新生児死亡など児(胎児)の死亡等により調査継続ができなくなった場合を「調査打ち切り」、児は追跡可能であるが、里帰り、避難、転居・転院、質問票が大変、多忙・余裕がないなど児の代諾者の理由により調査継続ができなくなった場合を「調査取止め」としている。

平成27年2月12日現在、調査打ち切りが167名、調査取止めが368名、母親同意数に対してそれぞれ1.3%、2.8%であった。

## 3) フォローアップの今後の課題

- ① 年齢が上がるごとに質問票回収率が低下している。
- ② 取りやめ数が少しずつ増加している。

## 4) フォローアップ率維持のための対応

○目標：13年後フォローアップ率80%以上維持

○対応：エコチル調査の意義を再認識してもらい、「エコチル調査に参加して良かった」「13年間エコチル調査を続けたい」と思ってもらえるように、参加者の思いを大切にされた督促の方法やイベント開催を工夫して、参加者のモチベーション維持に努めている。

○督促：単なる督促でなく、参加者の子育ての大変さを理解した対応

- ① ショートメール又は電話での連絡

各質問票の発送後1カ月経過後の未回収者に連絡(育児相談、母子の近況聴取を兼ねる)

- ② ハガキを送付

2ヶ月経過後の未回収者へは、体調を気遣う一文を入れたハガキを郵送

○エコチル通信の発行・・・年2回参加者全員に配布

- ① 調査結果の一部報告
- ② イベントや子育て情報の提供
- ③ 医療機関・市町村などエコチル調査関係機関へ配布

○市町村でのイベントへの参加

- ① 地域における乳幼児健診やイベント時の声かけ依頼
- ② 市町村スタッフからの声かけ(ファミリーフェスタ・健康フェスタ等での声かけ)

○各地域において対象児毎イベントの開催

- ① エコチルふれあい会(後述の「(7)広報活動」を参照)

### (3)詳細調査について

詳細調査をスムーズに実施するため、福島ユニットセンターでは詳細調査ワーキンググループを組織し、訪問調査開始前に3回、開始後1回、計4回の会議を開催した。

その後は福島本部・郡山事務所間で連絡調整の上、訪問調査の実施と医学的検査・精神神経発達検査の準備を進めた。

#### 1)訪問調査の開始

- ・平成26年10月から詳細調査のリクルートを開始

それに先立ち、コアセンター主催の「詳細調査リクルート・訪問調査研修」が開催された(センター長ほかRC10名、事務員3名が参加)。

- ・平成26年10月、コアセンターから第1次候補者リストが提供

候補者リストに基づき、リクルート開始。同意を得た候補者と日程調整の上、平成26年11月から訪問調査を実施。

- ・平成26年12月、コアセンターから第2次候補者リストが提供

平成27年3月に第3次候補者リストが提供。

順次、詳細調査への協力依頼、日程調整、訪問調査を実施している。

- ※ 3月末までのリクルート数は第1次抽出95名(リクルート完了)、第2次抽出109名、第3次抽出29名。

(第7次抽出まで：最終目標リクルート数637名)

- ※ 3月末までの訪問調査実施件数は、179件。

## 2) 医学的検査・精神神経発達検査に係る準備

- ① 詳細調査の医学的検査および精神神経発達検査を実施するため、下記の医療機関・施設に協力を求め承諾を得た。精神神経発達検査の検査会場として場所のみを借用する医療機関においては、ユニットセンターの職員(心理士)が出向いて検査を実施することとした。

表3 協力病院・施設

	協力医療機関・施設	医学的検査	発達検査
1	公立藤田総合病院	○	検査会場借用
2	大原総合病院	○	
3	福島県立医科大学附属病院	○	○
4	公立相馬総合病院	○	検査会場借用
5	星総合病院	○	○
6	太田西ノ内病院	○	○
7	白河厚生総合病院	○	検査会場借用
8	竹田総合病院	○	○
9	福島県立南会津病院	○	検査会場借用
10	いわき市立総合磐城共立病院	○	
11	子どもの家(いわき)		○

- ② 医学的検査及び精神神経発達検査は、統一した検査方法・検査用具を使用することから、検査担当者の研修会や認定試験等が開催されたほか、各協力医療機関・施設の担当者に対する説明や打ち合わせを実施した。

### <研修会・認定試験>

- ・平成26年9月 新版K式発達検査初級研修(大阪府)
- ・平成27年1月 医学的検査担当者研修(国立成育医療研究センター)
- ・平成27年2月 医学的検査担当医師合同研修(同上)
- ・平成27年3月 新版K式発達検査 認定試験 実技(東京都)

### <新版K式発達検査 リーダー会合>(東京都)

第1回(平成26年9月)、第2回(平成27年2月)

### <各協力医療機関・施設の検査担当者に対する「エコチル調査」の概要説明>

- ・平成26年10月 精神神経発達検査担当者への説明(郡山事務所)
- ・平成27年2月～3月 協力医療機関における説明(協力医療機関9施設)

#### <協力医療機関・施設との実施に向けた打ち合わせ>

平成27年2月～3月：各協力医療機関において、検査担当者(医師、看護師、事務、臨床心理士等)とRCのシミュレーションを含む打ち合わせを実施し、それを踏まえた各協力医療機関・施設毎の検査マニュアルを作成して4月からの検査に備えた。

- ③ 医学的検査および精神神経発達検査に必要な物品で、統一した規格の検査用具等に関してはコアセンターから送付され、そのうち大きな物品は、直接、検査病院・施設に送付され、検査開始日までに使えるように準備した。

#### (4)地域運営協議会開催

##### 1)開催目的

エコチル調査の円滑な遂行を図るために、行政・医療機関等の委員に対し調査実績や今後の調査に関する情報発信、普及啓発を行なうとともに、情報交流の推進を図った。

##### 2)開催状況

平成26年度は、県及び各地域の運営協議会を計5回開催した。

表4 地域運営協議会の開催状況

	協議会名称	開催日	開催地
1	福島県地域運営協議会	7月23日(水)	福島市
2	会津地域運営協議会	10月22日(水)	会津若松市
3	県北・相双地域運営協議会	10月27日(月)	福島市
4	いわき地域運営協議会	11月20日(木)	いわき市
5	県中・県南地域運営協議会	11月26日(水)	郡山市

##### 3)内容

- ・環境省・コアセンターの責任者から調査にかかる情報やご意見をいただいた。
- ・本県のエコチル調査の活動状況を報告した。
- ・参加者に13年間調査を継続してもらうための方策について、委員から様々なご意見をいただいた。

## 福島県地域運営協議会(平成26年7月23日：福島市)



### (5)市町村訪問

・平成26年8月

調査開始時に対象地域であったものの、平成23年3月の原発事故により避難した南相馬市および双葉郡の8町村を、県内各地にある仮役場などに訪問し、子どもの生活環境などを聴取するとともに、調査の推進等を依頼した。

### (6)医療機関訪問

1)平成26年11～12月

産科医療機関での参加者様の出産も終了し、支所として常駐していた医療機関をはじめ、県内42医療機関を訪問し、長期にわたる産科医療機関スタッフの皆様のご支援、ご協力に対し感謝申し上げます。

2)平成27年2～3月

平成27年度から始まる詳細調査(医学的検査、精神発達検査)の準備のため小児科の基幹医療機関10病院を訪問し、概要を説明するとともに実施に向けて課題などを聴取した。

### (7)広報活動

平成26年度は、産科医療機関における出産・産後1ヵ月健診、父親のリクルートも終了する時期であったため、ユニットセンターから参加者一人ひとりに配慮したニューズレターを作成・発行し、ふれあい会等を実施した。

1) エコチルふれあい会の実施 

○ふれあい会の対象児と内容(別添「資料5」参照)

表5 ふれあい会の対象児と内容

対象児	ふれあい会の内容
6ヵ月児	①親子遊び ②ベビーマッサージ ③小児科医のミニ講話 ④茶話会(ママ同士のふれあい・スタッフとのふれあい・気軽に相談会)
1.5歳児	①絵本の読み聞かせ ②親子遊び ③親子ダンス ④ミニ講話 ⑤茶話会(ママ同士のふれあい・スタッフとのふれあい・気軽に相談会)
3歳児	①絵本の読み聞かせ ②親子遊び ③親子ダンス(3B体操) ④ミニ講話 ⑤茶話会(ママ同士のふれあい・スタッフとのふれあい・気軽に相談会)

○ふれあい会の開催状況(回数)

実施回数は3年間で46回(29日)であった

表6 ふれあい会の開催状況(回数)

対象児	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計(回)
6ヵ月児	3	5	28	36
1.5歳児		3	5	8
3歳児			2	2
計	3	8	35	46

○ふれあい会の参加者数

3年間で860組の親子が参加し、平成26年度は県内各地域で開催し、参加者同士の交流、参加者とスタッフの交流を目的に実施した。

表7 ふれあい会の参加者数

対象児	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計(組)
6ヵ月児	75	140	523	738
1.5歳児		37	76	113
3歳児			9	9
計	75	177	608	860

(平成24年度・25年度は県北地域のみ、26年度から全县で開催)

2) ニュースレターの発行

2014年夏号(平成26年7月)及び2015年新春号(平成27年1月)の2回発行。「エコチル調査でわかったこと」や「エコチルふれあい会」の様子、詳細調査等に関する情報等を提供した。(参加者あて約12,200部、市町村等関係機関あて約600部、計12,800部発送)(別添「資料3及び4」参照)

### 3) 協力医療機関及び市町村への活動報告

#### ① 協力医療機関への活動報告

リクルート期間中は、毎月約50カ所の協力医療機関に対して「エコチル★だより」を発行し、各医療機関の実績やインシデントの発生状況、今後の予定や実施したイベントの報告を行った。また、リクルート終了後は上記の内容に質問票の回収状況を追加し、フォローアップの経過を報告した(15～19号まで発行)。

#### 「エコチル★だより」19号



## エコチル★だより 第19号

養 各医療機関 御中

トピック

詳細調査が始まります

**リクルート進捗状況**

≪リクルート進捗状況≫

調査時期	母親同意数 (同意率%)	父親同意数 (同意率%)	子ども登録数
福島県累計	13,134 (78.6)	8,622 (94.8)	11,791
全国ユニット合計	103,106 (78.5)	51,567 (94.9)	93,352

(2014年9月30日現在)

**フォローアップ状況** (発送後6ヶ月以上完了数)

調査時期	発送数	回収数	回収率
6ヶ月児質問票	6,455	6,236	96.6%
1歳児質問票	3,228	3,009	93.2%
1.5歳児質問票	1,779	1,647	92.6%
2歳児質問票	1,022	927	90.7%
2.5歳児質問票	327	292	89.3%

(2014年9月30日現在)

**8～9月のインシデント報告事例** (計4件・・福島地域 0件・拡大地域 4件)

1. 生体試料関連 [4件]

- ・チェックリストの記載漏れ、確認不足によりMT2の採尿採取を2回実施した。
- ・確認・連絡不足により出産時の検体が全て採取されなかった。
- ・確認・連絡不足によりMT2の生体試料すべてが採取されなかった。
- ・生体試料伝票を紛失した。

**お知らせ**

- エコチル調査の現状などを議題に平成26年度各地域の運営協議会を開催します。
 

10/22 (水) 会津地域	(会津ワシントンホテル)
10/27 (月) 県北・相双地域	(ウェディング エルティ)
11/20 (木) いわき地域	(いわきワシントンホテル)
11/26 (水) 県中・県南地域	(郡山ビューホテル)

順次ご案内状を発送いたしますのでご出席くださるよう宜しくお願いいたします。
- 詳細調査が開始されます
 

2013年4月1日以降に出生された方を対象に詳細調査が開始されます。福島県全体では無作為に選ばれた637名に協力をお願いします。調査の内容としては、1歳6ヶ月・3歳時には「訪問調査(環境調査)」を行い、2歳・4歳時には「医学的検査」「精神神経発達検査」を行います。来春以降、医学的検査や発達検査でご協力をいただく医療機関もありますので、よろしくお願いたします。今月よりリクルートを開始しており、11月からの訪問調査にむけて現在準備を進めています。

**イベント**



○ 約6ヶ月児を対象とした『エコチルふれあい会』を8/20白河、8/27福島、9/3いわき、9/17郡山、10/1会津の各地域で開催し、県南地域18組、県北地域59組、いわき地域23組、県中地域37組、会津地域10組の親子に参加いただきました(写真は8/27開催の白河地区)。アンケート結果では同じ月齢の子どもと触れ合えて良かった、同世代のママたちと話ができて良かった、疑問に思っていたことが聞いて良かった等の意見をいただきました。

○ 9月28日(日)福島市アオウゼにおいて行われた『健康フェスタ』に参加し、エコチル調査の広報活動を行いました。来訪された方に、調査の参加状況やこれまでにわかった結果などを説明し、調査への理解とご協力をお願いしました。





【編集・発行】 福島県立医科大学 エコチル調査福島ユニットセンター  
 (福島本部事務所) 〒960-1295 福島市光が丘1  
 TEL 024-547-1449 FAX 024-547-1448  
 (郡山事務所) 〒963-8024 郡山市朝日3丁目6番4号  
 レジデンス朝日第2ビル2階  
 TEL 024-983-4780 FAX 024-983-4751  
<http://www.ecochiru-fukushima.jp/>

ご意見・ご要望などございましたら、常駐RC・巡回時等の際にお聞かせください

15

## ②市町村への活動報告

県内全ての市町村に対し「エコチル★活動報告」を発行し、県内の保健所管内ごとのリクルートの実績やエコチル調査を取り巻く最新の情報等を報告した。エコチル参加の親子への継続的な声掛けや支援について依頼した。(5回発行)

### 市町村向け活動報告書



平成26年10月  
**Vol.14**

## エコチル★ふくしま活動報告

日頃は、エコチル調査にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。  
平成26年3月にリクルートが終了となりました。また、お母さんの参加者数が「13,134人」、9月30日時点の県内のお父さんの参加は「8,571人」、誕生したお子さんも「11,791人」となりました！

### 居住地別参加状況 (H26.9.30現在)

保健所管内別	お母さん	お父さん
県北保健所	5,711	4,537
県中保健所	1,243	623
県南保健所	843	618
会津保健所	1,279	428
南会津保健所	128	65
相双保健所	390	293
郡山市保健所	1,743	1,095
いわき市保健所	1,790	897
その他(※)	7	15
<b>福島県全体</b>	<b>13,134</b>	<b>8,571</b>

※「その他」：他ユニットセンター調査対象地域在住で、本県協力医療機関にて出産しリクルートした者

- 平成23年1月末日より県北保健所管内の福島市、相双保健所管内の南相馬市、双葉郡で調査開始。平成23年6月1日より県北保健所管内の伊達市、伊達郡で開始。その後、平成24年10月より福島県内全59市町村で調査開始。ただし、南相馬市、双葉郡は東日本大震災以後中断。
- 県北保健所管内の参加者数が突出しているのは、以上に示したように調査期間が長いため。
- 「お父さん」の人数は、全県で11,791人です。(H26.9.30現在)

全国では…

(H26.9.30現在)		
お母さん	お父さん	お子さん
103,106	51,587	93,352

### 各地域にて地域運営協議会を開催します。

10月22日(水)の会津地域運営協議会を皮切りに、各地域にて下記の通り地域運営協議会を開催します。運営協議会委員の皆様より、お子さんが13歳になるまで長期間にわたる参加継続を維持するための方策や、エコチル調査に期待することなどについて、ご提案やご意見をいただきます。委員の皆様へは、別途開催通知をお送りしますので、ご出席くださるようよろしくお願いします。

- ◇会津地域運営協議会 平成26年10月22日(水) 会津若松フシントンホテル
- ◇県北・相双地域運営協議会 平成26年10月27日(月) ウエディングエルティ(福島市)
- ◇いわき地域運営協議会 平成26年11月20日(木) いわきフシントンホテル
- ◇県中・県南地域運営協議会 平成26年11月26日(水) 郡山ビューホテル

### 2014年10月より詳細調査のリクルートが始まります。

エコチル調査では、福島県にお住いのお母様にお声掛けし、13,000人を超える方々にご参加いただき、全体調査を実施してまいりました。しかし、全体調査で半年ごとに回答いただいている質問票の調査だけでは、医学的・専門的情報を得ることが難しいという問題があります。そのため、実際にご家庭にお伺いして子どもたちの居住・生活環境について測定したり、成長や発達の変化について医師などの専門家が検査したりする「詳細調査」を行います。

○全国10万人の参加者のうち、5,000人  
福島県では「637人」の皆様に変更でご協力の同意をいただいで調査を実施します。

エコチル調査の参加者10万人全員に対して詳しい調査をすることはできないため、以下を共に満たす参加者からコンピュータで無作為に選ばれた皆さまに、順次資料をお送りし、電話にてご協力をお願いします。

- 1) これまで血液・尿などをご提供いただき、妊娠期・出産後の質問票を全て提出いただいた方
- 2) 2013年4月1日以降に生まれたお子さん

詳しくは、福島ユニットセンターのホームページをご覧ください。

### 各地域で、『エコチルふれあい会』を実施しました。

参加者同士の交流をはかり、子育てをサポートする一環として、調査に参加されている親子を対象とした「エコチルふれあい会」を開催し、ベビーマッサージ、育児相談、小児科医のお話、茶話会を行いました。和やかな雰囲気の中で多くの育児相談などもあり、子育て中の参加者同士では話が弾み、今後もこのような機会を作って欲しいというご意見をいただきました。

(平26.8.20 白河市・中央老人福祉センター)



(平26.8.27 福島市・アテックプラザセンター A02)



(平26.9.3 いわき市・中央公民館)



(平26.9.17 郡山市・カルチャーパーク)



(平26.10.1 会津若松市・会津福古堂)



【編集・発行】福島県立医科大学 エコチル調査福島ユニットセンター  
(福島本部事務所) 〒960-1295 福島市光が丘1  
TEL 024-547-1449 FAX 024-547-1448  
(郡山事務所) 〒963-8024 郡山市朝日3丁目6番4号  
レジデンス朝日第2ビル2階  
TEL 024-993-4780 FAX 024-983-4751  
(ホームページ) [エコチルふくしま](#)

#### 4)市町村及び各種団体主催のイベントに参加

各市町村や団体で主催しているイベントにエコチルコーナーを設け、来場者にエコチル調査の周知や質問票の集計結果などについて広報活動を行った。

- ① 9月28日 福島市主催 「健康フェスタ」
- ② 10月5日 郡山市主催 「ファミリーフェスタ」

健康フェスタ



ファミリーフェスタ



## (8)謝礼支払い(電子マネー)の運用状況

調査参加者への謝礼として当初より金券を送付していたが、平成26年3月から母親への謝礼を電子マネーによる支払いに切り替えた。

### 1)目的

母親参加者約13,000人に今後13年間にわたって年2回、質問票への謝礼として金券での謝礼支払いを行うことは、人的・時間的な労力を要し、また、簡易書留の郵送費を伴うこととなる。これら膨大な労力と経費を削減するとともに、金券の紛失等の人的ミスを解消するため、謝礼の支払いを電子マネーに切り替えることとした。

また、平成26年11月から、参加者の5%にあたる637人の方を対象とする詳細調査が開始され、その謝礼についても電子マネーによる支払いとした。

### 2)適用範囲・対象者

母親参加者を対象とし、謝礼支払いの機会が1回のみのお父さんおよび銀行振込で支払っている医療機関は、対象外とする。

同意書や質問票を回収した母親について、11,943名(平成27年3月末現在)に電子マネーカードを送付し、謝礼をポイントとして付与した。



電子マネーカード

## (9)その他研修等

### 1)RC代行研修

ユニットセンター職員等14人に対して、12回実施した。これまで実施した医療機関、市町村、ユニットセンター等の職員に対する研修は、計44回、受講者は計604人となった。

### 2)他ユニットセンター職員来訪時の情報交換会

高知ユニットセンターの医師・RCなどを迎え情報交換会を実施した。

開催日：平成26年11月21日(金)

開催場所：福島ユニットセンター新町事務所

目的：エコチル調査の進行状況などに係る意見交換。

内容：①フォローアップについて ②詳細調査について

### 3)職員研修

平成27年2月6日、全職員を対象に研修会を実施した。

研修会では、詳細調査や接遇、情報管理等の他、外部講師による教養講座を行った。

なお、研修に先立ち、リクルート数達成の努力に感謝する、盾(「努力の証」)がセンター長から職員の代表者に贈られた。